



「OSi(石紙)」シリーズ第2弾。作品タイトルのOSi(石紙)は、元素記号のO(酸素)とSi(ケイ素)の組み合わせであり、作品コンセプトは、『石』をテーマとした「素材・記憶・時間」の循環である。作品の材料は、私が関わる“CO2削減のための循環プロジェクト”による廃棄繊維をアップサイクルした再生紙(コットンペーパー)と、今回ペイントに使用した絵具は、インド砂岩から自作で作成した岩絵具である。このインド砂岩は、当時、福岡市博多駅前に存在した福岡相互銀行本店(現西日本シティ銀行)の外壁に使用していた欠片で、本店の建替えの際に社員の方が記念として残していた欠片の一部を頂戴した。この建築は、故磯崎新氏によるデザインであり、日本の名作モダニズム建築の一つとされている。岩絵具の作成という行為は、古代人が岩絵具を用い壁画を描いたことに対する遥か遠い記憶と時間を越えた身体的な共感である。制作工程は、①石のデジタル拓本、②デジタル加工、③レーザーカットによる型紙の作成、④Stonecil(Stencilを用いた独自技法)によるペイント。

